

感謝 ～人、もの、こと、自分～

校長 阿部 英幸

「たくましく生きる 二葉っ子」 これは二葉小学校の教育目標です。

「たくましく生きる」とは、どのように生きることなのでしょう。「たくましい」とは、体が強いことをイメージしがちですが、他にも、あきらめない心をもつこと、前向きであること、自分で考えて行動すること…などなど、様々な願いが込められています。

「たくましく生きる」人は、家族や友だち、地域の人など、自分を支えてくれる人がいることに気づいています。その感謝の気持ちが、「自分もがんばろう」というたくましさにつながるのです。

子どもたちには、感謝の気持ちをもつことで「たくましさ」を身に付けてほしいと思います。感謝の気持ちは、相手に対してとは限りません。ものにも、ことがらにも、そして自分にも感謝をしてほしいのです。

例えば、友だちに感謝する時は、友だちが自分のために何かをしてくれたと感じる時です。そんな優しい友達を「いじめよう、困らせよう」とは思わないはずです。つまり、人を大切にするようになるのです。

例えば、使っている道具や教室に感謝していれば、大事にきれいに使おうとします。

例えば、旅行に行って雨が降ってしまっても、「雨のおかげで、今までとは違う景色を見ることができた」と感謝することができれば、前向きに楽しむことができます。

そして、自分に「よくがんばっているね」と感謝することができれば、自分が好きになり、自分に自信をもつことができます。

このように考えると、感謝する気持ちは、たくましく生きていくためにとても大切だと感じます。子どもたちが感謝の気持ちで満たされ、誰もが幸せを感じることができるよう一年にしたいと思います。

毎朝、セーフティスタッフのみなさんが子どもたちの登校を見守ってくださっています。セーフティスタッフのみなさんは、「子どもたちの挨拶に元気をもらう」「子どもたちと一緒に歩くことで健康になる」と子どもたちに感謝して下さいます。さすが、「たくましく生きる」地域のみなさんです。ありがとうございます。

